

復興庁 平成29年度
共創イベントを通じた
情報発信ソリューション構築事業



情報発信ニーズ募集

(第1期)

平成29年
5/17(水)

具現化経費サポート

最大300万円

※共創イベントで生み出した課題解決のソリューションの具現化に対する費用（対象項目は募集要項参照）です。

10件まで

あなたが対峙する地域課題を共創で解決して、
東北から未来を生み出すプログラムです。

募集要項

<http://www.reconstruction.go.jp/>

募集要項およびエントリーシートは上記URL「新着情報」よりご確認ください。

詳細URL：<http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-11/2017/20170421150456.html>

▼ 応募資格

東北で被災地復興および地域課題の解決に取り組んでいる各種団体
(NPO、企業、自治体等)

▼ 応募方法

エントリーシートを締切までに提出
※期限及び提出先については、募集要項を参照

▼ 募集テーマ

自らの取組を発展・加速させるため、共創イベントを通じて、情報発信力の強化や新たなパートナーとのつながりを創出し、課題解決したいニーズ

▼ 審査方法

以下のフローによって選考を実施
1次選考：エントリーシートの書類審査
2次選考：ヒアリングを踏まえた審査

発信力を高め、仲間を見つけ、ともに未来を創る。

共創による課題解決とは？



自分たちだけでは解決できない課題を、異分野や他地域などで活躍する人々と取り組み、新たな解決策を具現化することで、広く社会へ変革をもたらすことを目指します。

本事業では、アイデアソン・ハッカソンなどの手法を用いて、課題解決につながるシステムやサービスの試作を行い、その実装を狙います。

写真：GLSヘルスケアハッカソン(仙台)

共創のための情報発信とは？



情報発信とは、単なる周知活動に留まらず、共創を生み出すパートナーとの出会いなど、課題解決のアクションをより効果的かつ社会的に広げていくために、自らの課題意識やミッションを的確に表現し、自分のプロジェクトとして世に発信することを指します。本事業では、呼びかける力の強化を狙います。

写真：SPARK!TOHOKU2015(仙台)

本事業での支援内容

- ① 共創イベントの企画・実施
- ② 情報発信ソリューション構築
- ③ 各種メディア等を通じた応募者の取組成果の他地域へのPR支援
- ④ 週次の交流の場の企画・運営

< 採択後の支援フローの例 > ※下記をベースに、採択後に協議します

